

報道関係者各位

2018年1月31日(水)



たる研通信 vol. 54
～ ドクターシーラボ『顔のたるみ研究所』がお届けするニュースレターです ～

**乾燥知らず、老け知らず！
1年のスタートにおすすめな美容成分はコレ！**

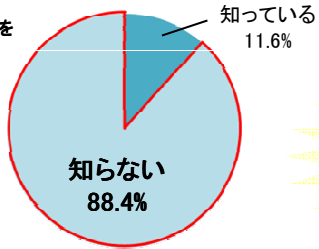
1月に入り、関東でも氷点下を記録するほど寒くなってきました。昨年1月の東京の日平均気温は5.8℃と1年で最も低く、平均湿度も53%と、2月に次いで低い月でした。一般的に、湿度が60%を下回ると肌が乾燥し始めるといわれています。気温低下は血行不良に、乾燥はあらゆる肌トラブルの引き金になりますので、この時季の私たちの肌は、どんどん水分が奪われる厳しい環境に晒されているのです。肌にとって過酷な冬には、保湿は最も重要なスキンケア。しかし、保湿は化粧品などで外から与えるだけだと思いませんか？実は、肌を土台から改善してうるおいを蓄え乾燥しない肌を育み、さらにエイジングケアまで叶える美容成分があるのです！2018年も乾燥に負けないうるおい溢れる肌で乗り切れるよう、改めてスキンケアを見直しましょう！

アンケート調査結果 (調査概要: WEBアンケート調査 / 20～59歳女性 432名 / 調査期間: 2018年1月17日(水)～18日(木))

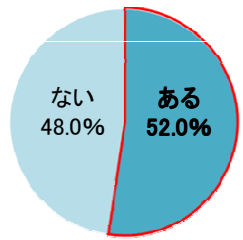
■9割近い人が知らなかった世界的な美容成分とは！？

今回顔のたるみ研究所では20代から50代の女性432人にアンケート調査を行いました。まず、今、まさに注目してもらいたい美容成分「EGF」を知っているかという問いに対して「知らない」と答えた人が約9割。「EGF」は肌の再生の鍵を握る上皮細胞増殖因子で、火傷や怪我などの治療にも用いられている世界でも有数の成分ですが、一般的にはまだまだ馴染みのない美容成分であることがわかりました。次に、Q1でEGFを「知っている」と答えた11.6%の人に対してEGFが配合された化粧品を使った事はあるかを尋ねたところ、半数の人が「ある」と回答。EGFを知ってはいても、実際に使っている人は半数にとどまっていることがわかります。

Q1.「EGF」という美容成分を知っていますか？



Q2.「EGF」が配合された化粧品を使ったことはありますか？

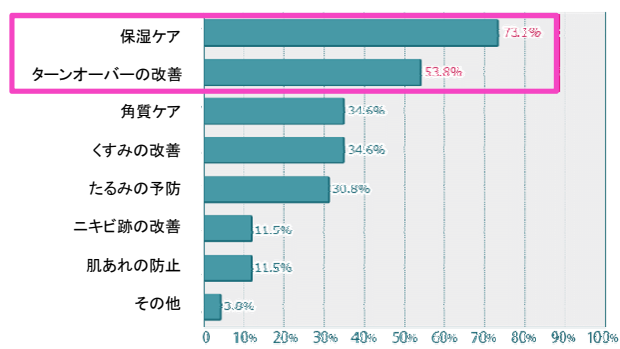


EGFの浸透度は低い

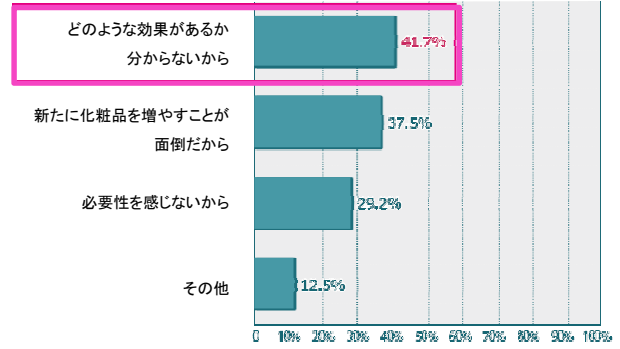
■EGFの効果は誤認されている！？

Q2でEGFが配合された化粧品を使ったことが「ある」と回答した人にEGFに期待している効果を聞いたところ、「保湿ケア」が73.1%で最多、次いで「ターンオーバーの改善」が53.8%という結果になりました。EGFの特長である細胞の成長を助けてターンオーバーを正常化するという効果よりも、「保湿」という部分に着目している人が多いことがわかりました。また、Q2でEGFを知っているが配合されている化粧品を使ったことが「ない」と答えた48%の人にその理由を尋ねたところ、「どのような効果があるかわからないから」という答えが41.7%と最も多い結果に。EGFは肌を再生し保湿、ハリ、なめらかさを保ち傷やニキビ跡や肌のくすみ、シワにも働きかける成分。知らないなんて、もったいないのです！

Q3.「EGF」に期待している効果を教えてください。



Q4.「EGF」をスキンケアに取り入れない理由を教えてください。



**冬の乾燥によるたるみの原因を徹底解剖！
必見のおすすめ美容成分は、次頁へ▼**

冬の乾燥とたるみの関係

冬に肌が乾燥する理由

気温と湿度の低下

1月は1年のうちで最も平均気温が低くなり、平均湿度も低くなります。空気自体が乾燥する冬は、**皮膚から水分が蒸発しやすくなるため乾燥肌になってしまうのです。**

皮脂量低下

普段私たちの肌を乾燥や刺激から守ってくれている皮脂膜。冬は、この**皮脂膜を形成する肌の水分と油分が低下するため、乾燥しやすくなってしまいます。**

エアコン

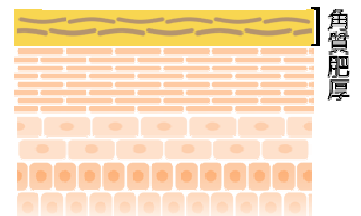
空気が含むことの出来る水分の量(飽和水蒸気量)は、温度が高いほど多く含むことが出来ます。**エアコンで室内を暖めると空気が含める水分の量も増えますが、室内の空気中にあるもともとの水分の量が変わらないため相対的に湿度が低下し、乾燥してしまうのです。**

乾燥がたるみへと繋がるメカニズム

様々な外的要因によって肌が乾燥すると、もともと肌を守るために備わっているバリア機能が低下してターンオーバーが乱れます。すると保湿成分を十分に保持することが難しくなり、さらなる乾燥を招いて粉ふきや皮むけなどの原因に。ターンオーバーの乱れにより古い角質が肌表面にとどまり角質肥厚の状態になると、新しい皮膚の成長を阻むだけでなく、未成熟な細胞が積み重なり外的刺激の影響を受けやすいため、たるみやシミの原因にもなりうるのです。乾燥対策に保湿ケアはマストですが、その**保湿成分を受けとめる土台が整っていないと効果は激減してしまいます。**

冬の乾燥に打ち勝ち、肌をたるませないために最も重要なのは、**肌のターンオーバーを正常化して水分を抱え込む肌の土台を整えることです。**

角質肥厚を起こしている肌



新しい皮膚の成長を阻み、未成熟な細胞が外的刺激を受けやすくなる

おすすめの美容成分

注目成分「●●●」とは

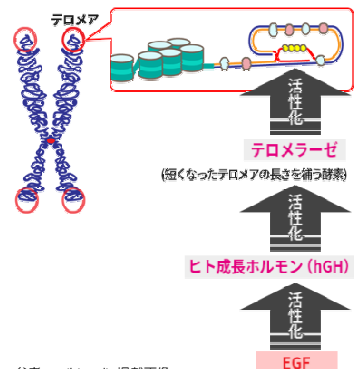


今注目して欲しい成分は、ズバリ「**EGF**」。「EGF(イージーエフ)」とは、Epidermal Growth Factorの略で、「**上皮成長因子**」ともいわれます。私たちの体内に存在する「EGF」は、**皮膚や細胞の成長や代謝を調整する働きのあるタンパク質で、新しい細胞の生成やダメージを受けた部位の修復を促進する働きがあります。**もともと「EGF」は火傷を負った患者の皮膚再生医療などの分野で研究されてきた成分。現在では、**肌細胞の新陳代謝を高めてターンオーバーを促し、健やかでハリのある肌へ導く美容成分**として、注目を浴びています。**新しい細胞の生まれ変わりを助け、古い角質が肌にとどまることを防ぐため、肌のごわつきやくすみ、たるみなどの肌トラブルの改善、化粧品成分の浸透力向上による保湿が期待できます。**

根本から老化に抗う！

人の細胞の老化に大きく関係しているのは、**染色体の末端にある「テロメア」というタンパク質。**細胞分裂を繰り返すことで「テロメア」は短縮します。この「**テロメア**」の短縮が老化に繋がるといわれているのです。**老化を遅らせる重要なポイントは「テロメア」の短縮を防ぐこと。**そのためには「テロメラーゼ」と呼ばれる酵素が必要不可欠。そしてこの「**テロメラーゼを増やすのが「ヒト成長ホルモン」。**この「**ヒト成長ホルモンを増やし、活性化するのに一役買うのが「EGF**」なのです。「EGF」は、新しい細胞を生成、傷ついた細胞を修復し、ターンオーバーを正常化。肌土台を整えて水分保持力を高め、乾燥を防ぎます。そのうえ、染色体の一部に働きかけることで、たるみなどの肌トラブルを根本から解決に導くというアンチエイジングまでできる優れものなのです。

「保湿×アンチエイジング」が両立する「EGF」は、冬のお手入れにぴったり！肌の土台から美しくなるために、是非「EGF」成分を日頃のスキンケアに取り入れてみてはいかがでしょうか。



参考：wikipedia掲載画像

※こちらの特集詳細は、「顔のたるみ研究所」へ！
<http://www.tarumi-labo.com/special/3244/>

顔のたるみ研究所

検索

お問い合わせ先：(株)ドクターシーラボ 宣伝部 広報グループ
TEL:03-6419-2508(直通) FAX:03-6419-2550 info@tarumi-labo.com
顔のたるみ研究所担当：高江洲(たかえす)・伊尾知(いおち)